

新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論
乳がんに対する個別化治療

講義日：2023年12月2日（土）

講師：柏木 伸一郎（大阪公立大学 乳腺外科学 教授）

要旨

乳がんは各種バイオマーカーや遺伝子の発現状況によってサブタイプに分類され、再発のリスクと治療効果が予測できるようになってきたため、他の癌と比べて患者さんごとに適した個別化治療が進んでいる。近年のマイクロアレイによる多遺伝子アッセイによって乳がんは複数のサブタイプ (Intrinsic subtype) に分類される。これは、ホルモン受容体 (ER, PgR), HER2受容体, Ki67による免疫組織分類の組み合わせと概ね一致するために現在、実臨床では代替的に分類がなされている。

本講義では、乳がんサブタイプについて概説し、そのサブタイプに応じた個別化治療について解説を行う。さらに免疫療法や抗体薬物複合体の登場により新時代を迎え、複雑化した乳がん治療を簡潔に要約したい。